

# 平成29年度 技術開発支援事業 助成対象課題の概要

\* テーマ:安全で安心できる暮らしの実現に資する技術

申請者 (代表)	所属組織	課題名	課題概要	研究又は開発 年度
梶川 勇樹	鳥取大学 大学院 工学研究科	セル分布型流出モデルを用いた流木流出量予測モデルの開発	洪水時の流木災害の防止に資することを目的に、降雨一流出解析モデルの一つであるセル分布型流出モデルを用いて、土砂崩壊の発生とそれに伴う流木の発生及び流出量・流出過程を予測できる流木流出量予測モデルの開発を行う。	H30・H31 (2ヶ年)
内田 龍彦	広島大学 大学院 工学研究科	礫床河川における洪水時の河床付近の流れと土砂輸送の解析法の解析と実河川への適用	土砂対策が急務である広島県の礫床河川の改修事業を支える洪水流と土砂輸送解析法を開発する。従来法の課題であった、流速分布、非静水圧分布および底面付近の抵抗評価の問題を克服し、水理実験による検証、現地河川への適用を行う。	H30・H31 (2ヶ年)
土田 孝	広島大学 大学院 工学研究科	造成後30年を経た高盛土造成宅地における地盤陥没メカニズムの解明と予防・対策技術の検討	近年人工的に造成して年月を経た地盤が陥没する事例が発生しているが、その地盤工学的なメカニズムは十分に明らかになっていない。本研究は、まさ土による盛土地盤において深部に空洞が発生し、表層の陥没に至る過程を解明し陥没現象の予防・対策技術を検討するものである。	H30 (1ヶ年)
森 啓年	山口大学 大学院 創成科学研究科	河川堤防のパイピング対策の健全性評価方法に関する研究	河川堤防のパイピング対策「堤内基盤排水工法」の健全性評価に資する観測技術の確立を目的に、現地観測、模型実験、数値解析を実施するものである。	H30・H31 (2ヶ年)
温品 達也	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科	コンクリートにおける塩害抑制技術の性能評価と寿命予測	コンクリートにおける劣化現象の一つである塩害について、実験および解析の両手法により検討し、混和材の使用や養生の工夫などによる合理的な塩害抑制技術の性能評価と長期寿命予測法を開発する。	H30・H31 2ヶ年

\* テーマ:建設現場の改善、負荷軽減に資する技術

申請者 (代表)	所属組織	課題名	課題概要	研究又は開発 年度
緒方 英彦	鳥取大学 農学部 生物資源環境学科	コンクリートの凍害に非凍結期の環境条件が及ぼす影響の解明	凍結危険度マップにおいて、ごく軽微だと分類されている地域で発生しているコンクリート構造物の凍害発生メカニズムを明らかにし、今後のコンクリートの凍結融解抵抗性の確保に向けた対策を図るために、室内試験と自然環境下での暴露試験により、非凍結期の乾湿繰返しおよび中性化が凍害の発生に及ぼす影響を解明する。	H30・H31 (2ヶ年)
西山 哲	岡山大学 大学院 環境生命科学研究所	高効率 ICT土工実現のための車両移動型高精度三次元レーザ測量技術の開発	建設現場の生産革命と言われる i-Construction をより効率的に実施するための車両移動型レーザスキャナによる広域かつ高精度測量システムを開発し、低コストかつ簡便に ITS 土工を実現するための三次元測量技術を完成させる。	H30 (1ヶ年)